



# 令和7年度 岩手大学 農学部改組・獣医学部新設 のご案内

- 文部科学省へ学部・学科等の設置申請予定です。
- 学部・学科コース名定員数及び計画内容は令和6年4月時点での予定であり、変更する場合があります。



## 「食料」「生命」「環境」をキーワードに 実践的かつ総合的な学びを提供



- POINT 1 「食料」「生命」「環境」をキーワードとした学科・コースの再編
- POINT 2 農学全体を俯瞰できる「農学の総合知」を養う実践的教育の実施
- POINT 3 ライフサイエンス分野の強化・充実

### 改組の背景と理念

岩手大学農学部は、前身の盛岡高等農林学校創立以来120年以上にわたり、農学分野における地域および国内外の課題解決とその人材育成のための実践的かつ先端的教育・研究を行ってきました。近年の農学分野においては、世界的規模で進む気候・環境の変化や農林水産業を取り巻く様々な情勢の変化を反映した教育・研究の重要性が増し、農学全体を幅広く理解するための教育と研究が強く求められています。

今回の改組では、農学の基盤である「食料」「生命」

「環境」の3つの領域を基軸として、各領域に関する専門教育と研究を行うと共に、これらの3つの領域を統合した「農学の総合知」教育を行います。岩手大学農学部は、創立から1世紀を越える「実学教育」の歴史と実績を最大限に生かし、地域と世界に貢献する特色ある「農学部」に改組することで、自身の専門分野に関して農学全体からの視点を持ち、修得した知識や技術を他の分野にも広く、そして力強く展開できる次世代の人材を育成します。

従来の

個々の専門分野の教育・研究の深化

+

新たに

農学領域を広く横断する俯瞰的視点での教育・研究

農学 = 食料 + 生命 + 環境

「農学の総合知」教育の実践

### 養成する人材像

1

農学分野を幅広く、かつ全体的な視点で捉えることのできる人材

2

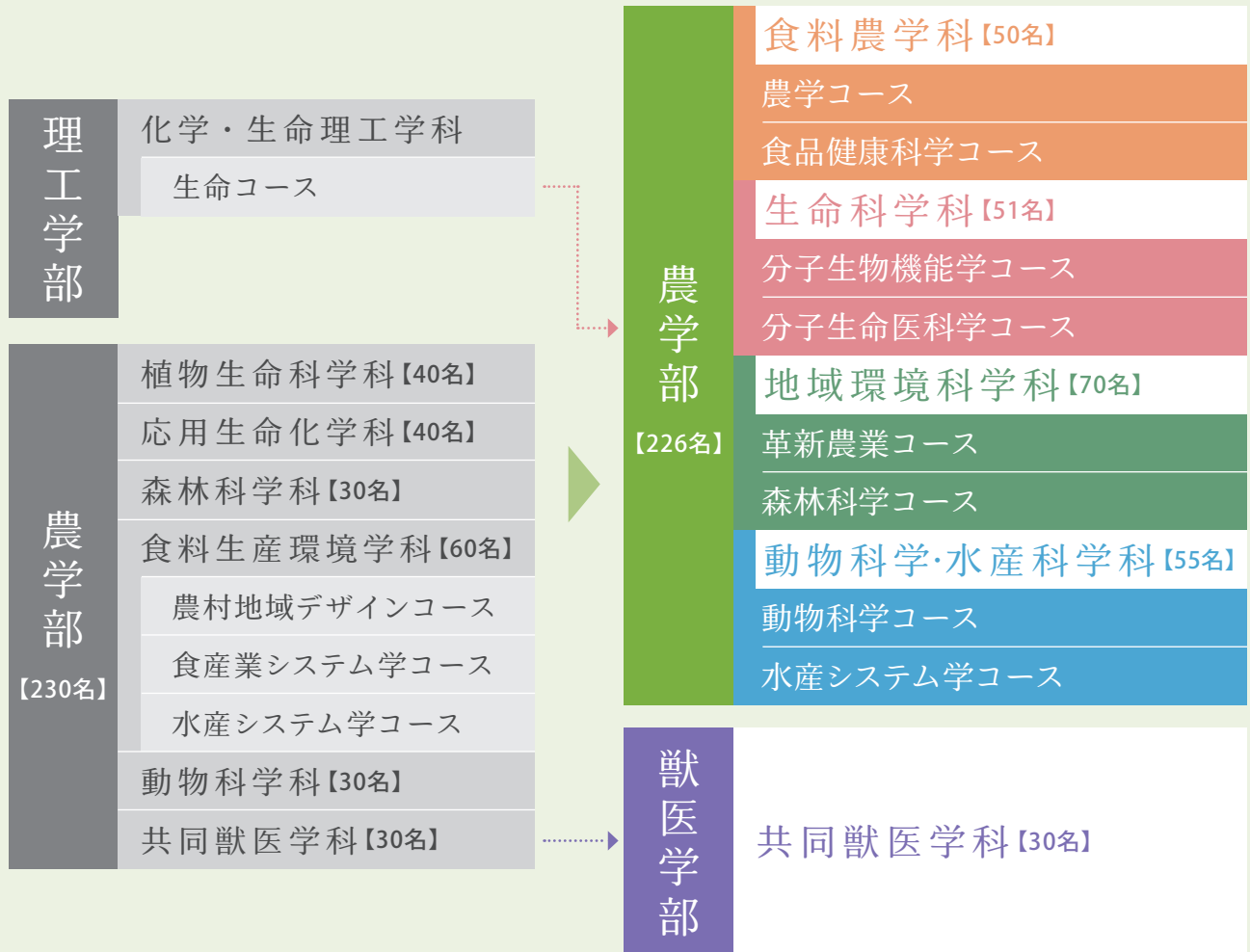
種々の社会課題を農学の視点から包括的に捉えてその解決に当たることができる人材

### 農学部アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

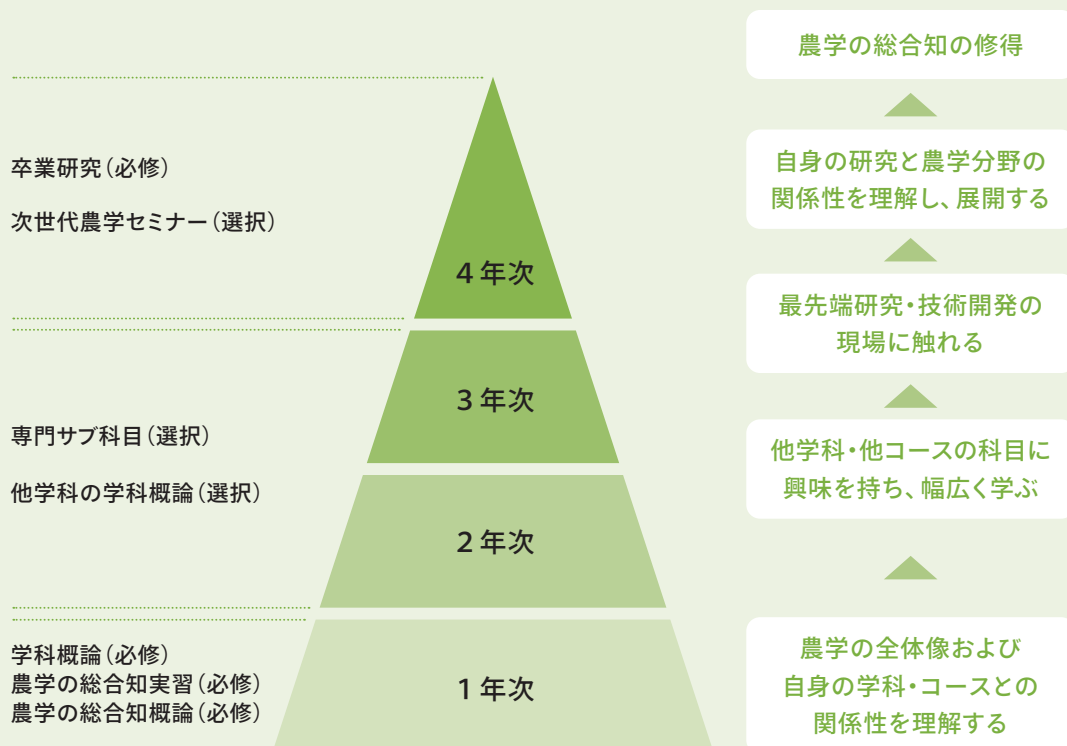
農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。そのため、入学者には、①農学分野を

学ぶに相応しい基礎学力、②農学分野に関する諸問題を全体的な視点から捉え探求する思考力と表現力、③農学分野の専門的知識と技術を修得する意欲、④農学分野を主体的に学ぶ積極性と創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶ意欲、をその資質として求めます。

改組後の体制



「農学の総合知」を教育する仕組み



Department of Food and Agricultural Sciences | 定員50名

人類の生存基盤である食料の生産と食品に関する教育・研究によって健康で持続的な食料・食品の生産供給を担う人材を養成します。



## 農学コース

定員30名

## 教育の特色

持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材の育成を目的に、農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全、植物の生産性・機能性の向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術の開発、食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育を行う。

## 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 普及指導員(受験資格) ○環境衛生監視員(任用資格)

## 求める人材像

- 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 農作物や農業生物を有益な資源として生かすための技術を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- グローバルな視点から、農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

## 食品健康科学コース

定員20名

## 教育の特色

国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材の育成を目的に、食材や食品、その成分の物理的・化学的特性、高度な食品加工に関する知識や技術、食品、栄養および天然資源の健康機能性などに関する教育を行う。

## 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 食品衛生管理者(任用資格) ○食品衛生監視員(任用資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)

## 求める人材像

- 食品素材の特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- 食品・栄養成分、天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

## キーワード

農園芸作物の生産技術

食品の加工技術と栄養／機能

## 主たる教育分野

農学コース

作物学、園芸学、植物育種学、植物病理学、土壌学、植物栄養生理学、農業経済学 etc.

食品健康科学コース

食品化学、栄養化学、食品工学、食品機能学、食品生化学、天然物化学、食品微生物学 etc.

## 卒業後の主な進路

種苗・肥料・農薬・食品・医薬品関連企業、農業・食品関連団体、公務員(農学・化学職)、大学院進学

生命の営みを分子レベルで深く理解すると共に、その原理を利用し、生物の機能強化、疾病の予防、種の多様性の継承等、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を養成します。



## 分子生物機能学コース

定員 25 名

### 教育の特色

微生物、植物、昆虫、動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元する。

### 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 普及指導員(受験資格)  環境衛生監視員(任用資格)

### 求める人材像

- 微生物、植物、昆虫、動物などの生物機能を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 生物機能に関する知識を習得し、実験、研究科目を学ぶ中で、自ら発想し行動できる人
- 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

## 分子生命医科学コース

定員 26 名

### 教育の特色

微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解明し、その知見を健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成する。

### 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科)  医薬品登録販売者
- 危険物取扱者 甲種(受験資格)  普及指導員(受験資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)

### 求める人材像

- 生物多様性の重要性、感染症や疾患、老化現象を分子レベルで学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 生命現象の分子レベルで解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人
- 生命科学に関わる諸問題に取り組み、活躍することができる人

### キーワード

生命現象の  
解明と応用

細胞工学と  
再生医療工学

### 主たる教育分野

分子生物機能学コース

生物化学、細胞生物学、植物生理学、応用昆虫学、共生生物学、応用微生物学 etc.

分子生命医科学コース

バイオテクノロジー、医薬科学、神経科学、動物行動学、再生医療、生殖科学、免疫学 etc.

### 卒業後の主な進路

製薬・食品・発酵・種苗・バイオ・化粧品・化成品・分析・医療関連企業、公務員(農学、化学職)、大学院進学

農業・森林資源の循環利用と環境管理、地域生態系の保全など、持続可能な農林業の構築を探求します。あなたの興味や関心を深めながら、未来の農業・林業のリーダーとして活躍する力を身につけませんか。



## 革新農業コース

定員37名

## 教育の特色

食料を安定して生産し食卓まで届けるためには、農地や水資源、農業機械、農産物の加工・保蔵・輸送の施設、そして農業者が安心して暮らせる農村空間が必要である。私たちは、これらの食料・農業・農村システムの整備や管理を、最先端技術を駆使して革新的に推進する人材の育成を目指している。そこで、基礎から応用的なIoTやAIなどを含めた先端技術まで幅広い専門教育を提供する。

## 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 測量士補(申請資格) ○普及指導員(受験資格)
- ビオトープ管理士(2級)(試験問題の一部免除) ○環境再生医(初級)

## 求める人材像

- スマート農業やITの仕組みを有効に利用し、高品質で安全な食料を持続的に供給する新しい食料システムを創出するための基礎学力を有する人
- 農業と自然の共生を実現するための資源の循環や農村環境の保全について学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 農業生産を支える農地・施設やそのシステムの整備について学び、技術を革新していく意欲のある人
- 地域振興や地域のネットワークづくりなどのコミュニティデザインの方策について学ぶ意欲のある人

## 森林科学コース

定員33名

## 教育の特色

自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材の育成を目的とし、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に教育する。

## 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業) ○技術士補(JABEE修了)
- 測量士補(申請資格) ○普及指導員(受験資格)
- 林業普及指導員(受験資格) ○造園施工管理技士(1級・2級)(申請資格)
- ビオトープ管理士(申請資格) ○樹木医補(申請資格)
- 環境再生医(申請資格)

## 求める人材像

- 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

## キーワード

地域環境の保全とスマート農林業

森林資源の管理と持続的な利用

## 主たる教育分野

革新農業コース

農業情報、農地灌漑、資源循環、農村施設、農村計画、農業機械、農産物流通科学、農業気象環境 etc.

森林科学コース

森林造成・管理学、林業工学、森林防災工学、森林政策学、野生動物管理学、保全生態学、木材利用学 etc.

## 卒業後の主な進路

スマート農林業・環境・建設・観光・食品・木材関連企業、IT関連企業、公務員(農林業系)、大学院進学



# 動物科学・水産科学科

Department of Animal Science and Fisheries Science | 定員55名

畜産物・水産物の生産と供給、野生動物や海洋生物の生理・生態・利用に関する教育・研究によって、動物・水産資源の安定的な生産と供給を担う人材を養成します。



## 動物科学コース | 定員35名

### 教育の特色

人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材の育成を目的とし、産業動物生産(畜産)と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤として、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用など動物科学に関する総合的な教育を行う。

### 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 食品衛生管理者(任用資格)    食品衛生監視員(任用資格)
- 家畜人工授精師(申請資格)    実験動物技術者(受験資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)    普及指導員(受験資格)

### 求める人材像

- 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

## 水産システム学コース | 定員20名

### 教育の特色

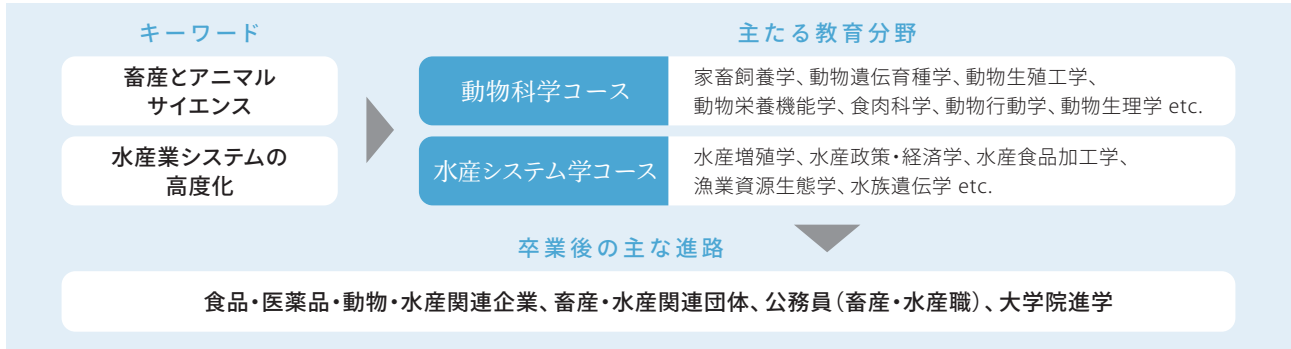
三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業の成長産業化に寄与できる人材の育成を目的とし、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤として、水産資源の生産(漁獲、増養殖)から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育する。

### 取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)

### 求める人材像

- 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人
- 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
- 高い倫理観を持ち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人



## 地域の要請に応えるために 国際通用性のある獣医学教育を実現

### POINT 1

産業動物臨床分野と  
家畜衛生・公衆衛生分野  
の充実

日本有数の畜産県に  
立地する岩手大学の強み  
を活かした教育  
高度獣医療の提供

### POINT 2

伴侶動物臨床分野  
の充実

地域と連携した  
高度な診断医療技術  
の提供と教育

### POINT 3

国際通用性を備えた  
人材の養成

国際基準を目指した  
学部カリキュラムの改善

- 高品質な獣医療サービスを提供するために必要な獣医学生が卒業時に身につけるべき最低限の資質 (Day One Competency) をバランス良く習得
- 地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現

### 改組の背景と理念

地域社会における岩手大学の実績と役割、獣医学および獣医師養成をめぐる社会の情勢の両側面から、岩手大学農学部共同獣医学科を改組し獣医学部を設置することとしました。

岩手大学獣医学部では、地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現し、産業動物及び伴侶動物獣医学、家畜衛生などの獣医に関する諸課題に対応可能な人材を育成することを目指します。

### 養成する人材像

1

地球環境の保全を含めOne Healthに関する高度な専門知識を修得し、獣医学領域に関わる課題について論理的に判断できる人

2

地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得し、意欲を有する人

3

高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践でき、論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけた人

### 獣医学部アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

獣医学部は、獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。そのため、入学者には①獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人、②動物の生命現象と病態に関する課題を探究し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人、③動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探究しよ

うとする意欲のある人、④自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人、⑤獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人を求めます。また、地域枠入試では、上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物臨床獣医師、都道府県の家畜衛生獣医師・公衆衛生獣医師に就業する明確な意思を持ち、地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。



# 共同獣医学科

Cooperative Department of Veterinary Medicine | 定員30名

東京農工大学との大学間共同教育システムを活用し、基礎から応用まで幅広い獣医学の知識と技術を学びます。



## 取得可能な資格等

- 獣医師(受験資格) ○食品衛生管理者(任用資格)
- 食品衛生監視員(任用資格) ○環境衛生監視員(任用資格)
- 飼料製造管理者(任用資格)

## 卒業後の主な進路

産業動物臨床獣医師、都道府県の家畜衛生獣医師・公衆衛生獣医師、国家公務員(獣医職、畜産職)、伴侶動物診療獣医師、医薬品・食品関連企業、畜産関連団体、競馬関係団体、大学院進学

## カリキュラムマップ

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	大学教育導入											
	スポーツ健康											
	外国語											
	人文社会科学											
配置大学 特色科目群	理数系基礎											
	持続可能社会											
	理数系アドバンス											
基礎獣医学科目	獣医学概論						獣医事法規					
	獣医倫理Ⅰ						獣医倫理Ⅱ					
	畜産学概論					家畜飼養学		生物統計学				
	発生学	運動器・神経系解剖学 解剖学実習Ⅰ	内臓・脈管系解剖学 解剖学実習Ⅱ 組織学 組織学実習									
	生理学Ⅰ	生理学Ⅱ 生理学実習										
	獣医基礎生化学	獣医代謝生化学 生化学実習										
			獣医遺伝育種学 実験動物学 基礎放射線学 基礎薬理学 統合薬理学 薬理学実習	実験動物学実習 基礎放射線学 統合薬理学 薬理学実習								
		微生物学総論	病原微生物学 微生物学実習Ⅰ 寄生虫学Ⅰ	微生物学実習Ⅱ 寄生虫学Ⅱ	寄生虫Ⅱ 寄生虫学実習 家禽疾病学							
			免疫学 動物感染症学 動物病理学総論	動物感染症学 動物病理学総論	動物病理学各論Ⅰ 動物病理学各論Ⅱ 動物病理学実習Ⅰ 動物病理学実習Ⅱ							
			公衆衛生学総論		人獣共通感染症学 疫学 動物衛生学 動物衛生学実習 食品衛生学(獣医) 環境衛生学 食品衛生学実習 毒性学 毒性学実習 行政体験実習	野生動物学 動物衛生学 動物衛生学実習 公衆衛生学実習 毒性学 毒性学実習						
小動物臨床獣医学科目					内科学総論 小動物内科学実習・基礎編	小動物内科学実習・応用編	小動物内科学実習・応用編	血液免疫病学 小動物外科学実習・応用編				
					外科学総論 臨床病理学 臨床薬理学 呼吸器病・循環器病学	臨床病理学 臨床薬理学 軟部外科学 泌尿器病・生殖器病学	臨床病理学 臨床薬理学 軟部外科学 泌尿器病・生殖器病学	神経病・運動器病学 眼科学 画像診断学				
							内分泌・皮膚病学 臨床栄養学	代謝病・中毒学 臨床栄養学	総合参加型臨床実習Ⅰ 総合参加型臨床実習Ⅱ	総合参加型臨床実習Ⅲ 総合参加型臨床実習Ⅳ		
							繁殖機能制御学 臨床繁殖学実習	臨床繁殖学 臨床繁殖学実習				
							産業動物臨床学Ⅰ 大動物臨床実習・基礎編	産業動物臨床学Ⅱ 大動物臨床実習・応用編 馬臨床学				
									総合参加型臨床実習Ⅴ 総合参加型臨床実習Ⅵ			
選択科目		人と動物関係学 動物園動物学 学外実習(国内) 学外実習(海外)	動物介入学	国際感染症制御学	宿主寄生体関係特論	動物病院経営学						
専修科目								獣医学演習 アドバンス演習		卒業研究		

共用試験

# 附属施設の紹介

岩手大学農学部・獣医学部は、教育研究を実践する場として、また応用分野に至る研究の場として、広大な農場や演習林など多彩な附属施設を持ち、学生の実習・研究の場として、また研究成果を社会に還元する場として役立てています。

## 農学部附属

### 寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

#### 都市近郊から中山間までの 多様なフィールド

本センターには、都市近郊フィールドとして滝沢農場と滝沢演習林、実験苗畑、中山間フィールドとして御明神演習林があります。これらは、フィールドサイエンスの寒冷地における総合的・実践的な教育・研究及び地域貢献を行うことを目的として設立されました。

#### 活かしたフィールドを利用した 実践的教育研究

1世紀以上にわたり整備してきた、寒冷地における森林から耕地に至る特色あるフィールドを活用して、新たな農学観に立脚する高度専門技術者の養成を行っています。また、各フィールドでは農学部キャンパスから比較的近距离に位置しているため、各学科の実習や研究に多く利用されています。

## 農学部附属

### 畜産飼料総合教育研究センター (AFSeC)

令和6年6月設置予定

我が国における畜産飼料の供給・流通に関する諸問題の抜本的な解決を目指し、①新しい飼料供給・流通モデルの開発、②雑穀などの新規飼料原料の活用、魚粉など既存飼料原料の品質改善を通じた新規畜産飼料の開発、及び③飼料給与法など家畜飼養に関する技術革新を通して我が国の食料安全保障に資することを目的とした本学における畜産に関する教育・研究の重要拠点で、栗石町にある御明神牧場を含みます。

さらに、本学学生に対する実践的教育と畜産技術者・臨床獣医師に対するリカレント教育もミッションとします。すなわち、これまでの国内大学機関には存在

しなかった畜産飼料・飼養技術に関する高度かつ総合的な教育・研究を実施するセンターです。

農学部動物科学・水産科学科は、繁殖・飼養・育種など家畜・家禽生産に関する教育・研究を行う動物科学コース及び三陸の豊かな漁場を背景に震災復興に資する水産学の教育・研究を行う水産システム学コースを有し、また、獣医学部には産業動物獣医師を養成する共同獣医学科があり、それぞれ独自に教育・研究を行なっていますが、本センターは、これら組織を「畜産飼料・飼養技術と飼料の供給・流通システムの革新及びその実践的教育」という命題のもとに強固に連携させる組織としての役割も有します。

## 動物病院

臨床研究の対象動物は  
産業動物から伴侶動物に至るまで多岐にわたり、  
社会の要請に応じた研究が精力的に行われています

動物病院は、伴侶動物診療棟と産業動物診療棟の2棟からなり、  
共同獣医学科の臨床教育を実践する場となっています。

本動物病院は伴侶動物内科、伴侶動物外科、産業動物臨床繁殖科、  
産業動物診断治療科、生産獣医療科などの診療科を持ち、動物病院専任及び兼任教員が診療を行いながら、伴侶動物と産業動物の  
それぞれのバランスのとれた臨床教育を担っています。



## 動物医学食品安全教育研究センター

(Food Animal Medicine & Food Safety Research Center; FAMS)

「健康な動物の生産」と「食の安全・安心」を確立するための拠点へ

当センターは、「健康な家畜の生産から加工・流通を経て食卓に至るまで」いわゆる“Farm to Table”で食の安全・安心を科学し、その成果を地域と世界に発信する拠点として設置され、動物生産部門、食の安全部門、環境放射線衛生学部門および企画調整部門の4部門で構成されています。

当センターは社会人教育に力を入れて活動してお

り、食に関わる人を広く対象とする全体研修会の他、各分野の人を対象とする部門別研修会を毎年開催しています。また、県内の関係機関との情報共有の場として成果発表会を定期的に行い、地域との連携強化にも務めています。研究面では、外部資金を活用した大型プロジェクト研究にも取り組んでいます。

## 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

(Farm Animal Clinical Skills and Disease Control Center, FCD)

産業動物臨床教育の向上と家畜疾病制御の教育研究拠点を目標として

当センターは、産業動物臨床教育の向上を支援し家畜疾病制御に係る教育研究体制を整備して、産業動物分野を支える獣医師人材を育成する拠点形成を目的として、2022年6月に設立された附属施設です。組織として、産業動物実習部門と感染症制御部門の

2部門で構成されており、岩手大学が地域と連携して充実した臨床獣医学教育や卒後教育を行うとともに、越境性重要感染症対策などに取り組むことを目指しております。

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8  
TEL 019-621-6103 FAX 019-621-6107

### アクセス

- 盛岡駅前東口バスターミナル11番乗り場より、「岩手県交通バス 駅上田線 松園バスターミナル行き」または「岩手県交通バス 駅桜台団地線 桜台団地行き」乗車、「岩手大学前」下車、所用時間約10分
- 盛岡駅からタクシーで約10分
- 盛岡駅から徒歩で約25分



岩手大学農学部ホームページ  
<http://www.agr.iwate-u.ac.jp/>

